



# きくよう



目次	◎表紙 (子ども議会)		
	令和6年度 子ども議会 開催	..... P2~5	一般質問 ..... P11~24
	定例会・臨時会	..... P6~7	子ども食堂 ..... P25
	令和5年度決算	..... P8	議会の活動状況 ..... P26~27
	常任委員会報告	..... P9~10	Tea Time ..... P28

# も 議 会 開 催

(菊陽町の未来のために) ~

午前10時開会 場所：菊陽町役場3階 菊陽町議会議場

「さん」と輝く生活都市 きくよう」の実現に向けて、

(教育、健康、子育て、福祉、環境、土地利用、交通、防災、防犯、産業、住民参画、人権など)



## Q 新制服になり町から制服購入時に補助をしてほしい

A 学校給食費の完全無償化で負担軽減を考えている

**教育長職務代理者感想** 町は、学校給食費を無償化することで、皆さんの健康や栄養面など、食のサポートをしっかりと行っていきます。皆さんは、自分の将来の夢を実現するために、一生懸命、頑張っていたください。

町では、子育て世帯の支援策として、令和7年度からの学校給食費の完全無償化の実施に向けて取り組んでいる。制服購入時の補助について、実施の予定はないが、学校給食費を支援することで、大幅な負担軽減に繋がるものと考えている。

新制服の適用が始まった。令和6年4月以降に入学する新一年生から、新制服の適用が始まった。

町の中学校では新制服が適用された。服の購入費が高額なため、各家庭の経済的負担が大きくなっている。金銭的な負担を少しでも減らすため、町から制服購入時に補助をしてほしい。



吉田 悠人 議員  
(武蔵ヶ丘中)



## Q 工場排水による地下水の水質、枯渇について

A 地下水保全について正確な情報を提供し、不安の解消に努める

**町長感想** 地下水保全について、町としては正確な情報を提供し、不安の解消に努めていく。

地下水の枯渇については、地下水保全に向けた3つの原則により強化する。(1)地下水涵養のさらなる推進。(2)地下水取水量の削減。(3)竜門ダムの未利用水活用。)

法令等に基づく規制物質を対象に県では、関係市町村と連携して監視を徹底し、結果を公表するとともに、適切に対応している。

菊陽町にJASMが建設され、工場排水によって地下水の水質、枯渇についての問題点はないか。

水質について、JASMでは、工場で使用された水は、工場内の排水処理施設で下水道法の基準内まで有害物質を除去し、処理した水は下水道に排出、下水処理施設において、同じく基準内まで汚れを除去したうえで、河川に放流している。



松永 一輝 議員  
(菊陽中)



# 令和6年度 子ども

## ～まちづくりは人づくりから

主催：菊陽町 菊陽町教育委員会      とき：令和6年8月7日(水)

### 議題

「第6期菊陽町総合計画」に掲げる本町の将来像「人・緑・未来」子どもたちの感覚や視点を生かして、将来の菊陽町の姿を考える。

### Q 屋外スポーツができる施設の整備はできないか

#### A 新たなスポーツ施設の計画はない

**教育長職務代理者感想** スポーツを活用して友人などと交流を行うことは、素晴らしい意見であると感じている。「スポーツには、人と人を結びつける力がある」と言われ、今後とも、スポーツを通して様々な人と出会い、生涯にわたるスポーツライフを築いてもらいたい。

**A** 「誰もが自由にボールを使い、屋外スポーツができる施設の設置」については、アーバンスポーツ施設の整備に取り組んでいるところであり、現段階においては、新たなスポーツ施設の計画はない。

**Q** 屋外でスポーツを楽しむ際、場所が少ないという現状がある。そこで新たに、誰もが自由にボールを使い、屋外スポーツができる施設の整備はできないか。



須藤 彰斗 議員  
(武蔵ヶ丘中)



### Q 図書館の読書と勉強のスペース確保ができない

#### A 視聴覚室を個人学習室として開放する

**教育長職務代理者感想** 菊陽町図書館は、平成15年に開館し、現在21年目を迎えている。開館当初からは町の様相も大きく変化しており、図書館利用者のニーズも多様化している。今後益々増加していく、菊陽町の図書館利用者も、今後増加が予想される外国の方々の事を考えた有意義な質問でした。

**A** 図書館としては、図書コーナーの外にある視聴覚室を、勉強をする方向けに、個人学習室として開放し、20席ほど増席をして対応した。視聴覚室の開放を行い、図書館内における「読書」と「勉強」の両方の利用者から満足してもらえるよう利便性の向上に努めていく。

**Q** 町図書館で勉強をする人が多く、本を読んだり、勉強したりする席があるスペースを確保し、勉強をしたい人と読書をした人がどちらも席を使用することができるよう、それぞれが使用する席を分けることができないか。



森川 晴斗 議員  
(菊陽中)





議事進行を行う加茂由珠香議長

本日は、菊陽町子ども議会を開催していただき、ありがとうございます。この子ども議会の開催にあたって、町の議員の皆様・町の職員の皆様や、先生方など、たくさんの方々を支えていただきました。

私たち中学生は、まだまだ菊陽町について知らないことが多くあります。本日、この子ども議会という場に向けて準備を行っていく中で、菊陽町の政治や経済などについて調べ、意見交流を重ねながら、自分たちの考えを深めてまいりました。その中で、ふるさと菊陽を誇りに思い、今まで気づくことがなかった菊陽町の良さ、魅力にも出会いました。そして多くの方々のおかげで、私たちは菊陽町で安心して暮らすことができているのだと、改めて感じました。

## Q 渋滞の緩和、道幅の拡張についての対策は

A 町民の皆様が安全・安心できる道路環境の実現に向け取り組む



有働 優月 議員  
(武蔵ヶ丘中)



Q 菊陽町では、通学・通勤時や休日  
に道路が混み合い、車同士、もしくは  
車と自転車、そして人が接触しそうな  
なっている場面が見られる。大きな事  
故が起こる前に渋滞の緩和、道幅の拡  
張についてどのような対策を行う予定  
か。

A 通勤・通学時の安全対策や交通渋  
滞を大きな課題と捉えている。安全対  
策として「菊陽町通学路安全プログラ  
ム」に取り組んでいる。また国家プロ  
ジェクトであるJAS M 進出により従  
来から行ってきた渋滞対策が加速して  
いる。

Q 人通りが多い道でも街灯（防犯  
灯）が少ないと感じる箇所があり、下  
校時や塾の帰りに危険を感じることに  
ある。特に武蔵ヶ丘団地付近、緑陽台  
付近が挙げられるが街灯（防犯灯）の  
設置、増設は可能か。

A 現場の状況をしっかりと確認し、  
区や自治会とも情報を共有し対応を検  
討していく。

町長感想 町としては、今後も国や  
県、関係機関と連携しながら道路の安  
全確保や交通渋滞対策を進めていく。

## Q 町内に在住する外国人が相談できる場所は

A 役場庁舎に「外国人相談窓口」を設置している



成松 凜音 議員  
(菊陽中)



Q たくさんさんの企業が菊陽町に進出す  
ることで、これから先、多くの外国の  
方が在住されると予想される。そのよ  
うになると言語や文化の違いから悩み  
を持つ方が増えると思うが悩みを相談  
する場所はあるか。

A 昨年3月に関係機関・団体と「多  
文化共生連絡会議」を設置した。また  
役場庁舎に「外国人相談窓口」を設  
置し外国人のサポートを行っている。

Q 日本と外国の文化を相互に共有で  
きるような機会はあるか。また日本語  
や日本文化を学ぶ施設や機会をつくる  
のはどうか。

A T S M C 進出で町民の皆さんが高  
い関心を持っている台湾に関して「台  
湾を学ぼう」「台湾発見講座」などの  
講座を開催している。また外国の方  
士、外国の方と町民の皆さんの交流の  
機会も重要と考え、5月に交流イベン  
トを開催した。

町長感想 関係機関としっかりと連携  
しながら、町にお住いの皆様が安心し  
て暮らせるまちづくりを進めていく。



代表挨拶を行う米森那由議員



中学生というまだまだ社会経験の少ない私たちですが、菊陽町の生徒代表として、こうして議会の場に立ち、意見を伝える機会をいただいたことを、とてもうれしく思います。

もうすぐ、私たちも選挙権を持ち、政治にかかわる一員となっていく予定です。自分の暮らす町について興味・関心を持つことが、政治への第一歩です。菊陽町というこの素晴らしい町がますます住みよい町となっていくよう、私たちも努めていこうと思います。

今日の子ども議会というこの学びを、将来私たち若者が背負っていく未来につなげていくことを誓ってあいさつに代えさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

## Q 土地価格高騰について税金・補助金の対策や支援は

A 現段階では町独自の税金等の対策や支援は考えてない

**町長感想** 課題の最小化を図りつつ、効果を最大化するような取り組みをしっかりと進めていく。

**Q** 菊陽町の地価上昇率が全国でも上位となっており、いきすぎた半導体バブルを不安視する声も上がっている。土地の高騰で家賃が値上がりし人件費もかかるとなれば将来的に人口流出の可能性もある。まちは土地価格高騰について税金・補助金等どのような対策・支援を考えているのか。

**A** 急激に地価が上昇した土地には、国が税負担の公平性を保つため「負担調整措置」を実施している。そのため現段階において税金面での対策や支援は考えていない。家賃の値上げについても民間の取引であり「町が関与できるものではない」と判断しているため、補助金についても考えてない。

**Q** 企業の進出により農地の減少が懸念されている。農業の持続可能性を模索しながら経済の発展を遂げる取り組みはあるか。

**A** 令和3年に策定した都市計画マスタープランを見直す作業を行っており、農業振興地域整備計画との統合を図り商業・工業の振興、そして農業とのバランスを重視した土地利用計画とする。



野田 祥太 議員  
(武蔵ヶ丘中)



## Q 現在使用中のタブレット端末の見直し改善の予定は

A 令和7年度には新しいタブレット端末を提供できるよう取り組んでいる

**町長感想** タブレット端末をいつでも支障なく使用できるように環境整備を行っていくので、皆さんも使いこなす能力をさらに磨いて将来、日本のみならず世界で活躍する人材になることを心から期待しています。

**Q** 現在使用しているタブレットは、充電の減りが早く、初期化する事が多い。また充電に手間がかかる。タブレット端末の見直しや改善の予定はあるか。

**A** 現在、校長先生を中心とした「ICTに関する検討委員会」やICTに長けた先生方を中心とした作業部会を立ち上げ、様々な角度から検討を行い、令和7年度には使いやすく壊れにくい新しいタブレット端末を皆さんに提供できるように取り組んでいる。

**Q** 複数の端末を使用すると、重くなりサイトが開けないことがある。また教室以外での使用ができない。校内のWiFi環境を整えてほしい。

**A** 全ての学校において、インターネットの利用状況や接続状況など、現在どのような状態にあるか、しっかり調査・分析を行い、いつ使用しても支障がないよう環境整備に取り組む。



波佐間悠人 議員  
(菊陽中)



- ◇認定第1号 令和5年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第2号 令和5年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第3号 令和5年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第4号 令和5年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第5号 令和5年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇議案第50号 令和5年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定
- ◇議案第51号 菊陽町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第52号 菊陽町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第53号 菊陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第54号 菊陽町学校給食の実施及び学校給食の管理に関する条例の制定
- ◇議案第55号 菊陽町学校給食運営協議会設置条例の制定
- ◇議案第56号 令和6年度菊陽町一般会計補正予算（第3号）
- ◇議案第57号 令和6年度菊陽町土地取得特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第58号 令和6年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第59号 令和6年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第60号 工事請負契約の締結（菊陽町老人福祉センター内部改修工事（建築））
- ◇議案第61号 工事請負契約の締結（菊陽町老人福祉センター内部改修工事（機械設備））
- ◇議案第62号 工事請負契約の締結（菊陽町営中代団地改修工事（1工区））
- ◇議案第63号 工事請負契約の締結（菊陽第二地区7号街区公園整備工事）
- ◇議案第64号 町道路線の認定
- ◇議案第65号 熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
- ◇報告第10号 令和5年度菊陽町一般会計予算継続費精算報告
- ◇報告第11号 令和5年度決算に基づく菊陽町の健全化判断比率及び資金不足比率
- ◇報告第12号 有限会社さんふれあの経営状況
- ◇同意第12号 菊陽町教育委員会委員の任命
- ◇諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦
- ◇発議第8号 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書（案）

## 付議事件（追加）

- ◇議案第66号 財産の交換

報告第12号（有限会社さんふれあの経営状況）

**Q** 令和5年度の実績で当初の赤字から黒字に転換しているが、直売所売上げが1.5倍増額となっている要因は何か。

**A** 売上げとしては、全体的に去年の入湯者数が31万5000人を超えており、前年度比で108%に増加している。直売所、レストランの売上げ等も上がっている状況から、このくらいを見込んでいます。

### ＜反対討論＞

認定第1号について反対の立場で討論を行う。

令和6年2月24日に第1工場が開所されたJAS Mの進出によって地下水の枯渇、汚染への町民の不安も大きく、また交通渋滞、農地の問題、地価高騰の問題など生活に大きな影響を及ぼしている。もちろん行政も幹線道路の整備で、道路新設改良費に14億7572万9000円を支出しているが、交通渋滞についてはこれまでの一般質問で、道路整備とともにソフト面の充実が必要だと訴えてきた。また、農地

についても大きく減少している、このことも大きな問題だ。更に、町民は長引く物価高で暮らしが厳しくなっている。もともと町民の暮らしへの支援が必要であることを述べて、反対討論とする。

〔賛成討論〕

認定第1号について賛成の立場で討論を行う。

菊陽町監査委員による会計監査を見ると、本町の財政運営が極めて堅調であることが示されている。

T S M Cの進出がもたらす変化に対しても効果的に対応できており、地下水の質量保全についても白川中流域等水稻作付推進協議会の取り組みが始まり、水田の湛水事業が進んでいる。更に森林の育成や緑地保全など地下水の質量保全について適切な対策が行われている。

以上、T S M C効果の最大化とマイナス要因の最小化を図るための町の諸施策は適切に行われていると判断する。菊陽町のみならず県下全域を潤し、大きくは我が国や世界に関わる事業の大切な一端を担う基礎をつくるべく、私たちの活動と浄財が寄与することを願い、令和5年度決算への賛成討論とする。

## 議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本		
		賛成	反対																			
認定第1号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第3号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第4号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第66号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除

※議長は議事進行のため賛否表明はしません。

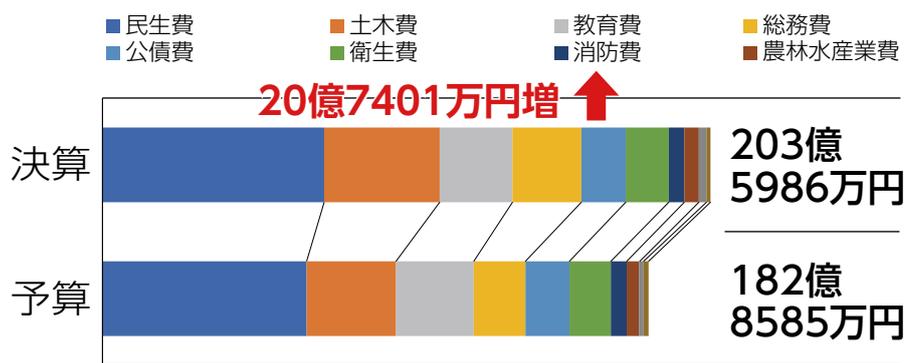
※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。(それ以外は原案のとおり可決)

## 令和6年第3回菊陽町議会臨時会 7月24日

- ◇報告第9号 専決処分の報告(車両冠水事故による損害賠償額の決定及び和解)
- ◇議案第38号 令和6年度菊陽町一般会計補正予算(第2号)
- ◇議案第39号 工事請負契約の締結(三里木町民センター改修工事(建築))
- ◇議案第40号 工事請負契約の締結(武蔵ヶ丘北小学校給食室新築工事(建築))
- ◇議案第41号 工事請負契約の締結(武蔵ヶ丘北小学校給食室新築工事(機械設備))
- ◇議案第42号 財産の取得(武蔵ヶ丘北小学校給食室厨房備品)
- ◇議案第43号 工事請負契約の締結(武蔵ヶ丘小学校給食室改修工事(建築))
- ◇議案第44号 工事請負契約の締結(武蔵ヶ丘小学校給食室改修工事(機械設備))
- ◇議案第45号 財産の取得(武蔵ヶ丘小学校給食室厨房備品)
- ◇議案第46号 工事請負契約の締結(菊陽杉並木公園拡張整備テニスコート新設工事)
- ◇議案第47号 財産の取得(菊陽町杉並木公園拡張整備事業用地)
- ◇議案第48号 町道路線の廃止
- ◇議案第49号 町道路線の認定

議案38~49号は原案のとおり可決

# 令和5年度の決算が決定



## 主な事業

- 土木費：8億7201万円増  
菊陽杉並木公園拡張整備事業
- 民生費：5億9067万円増  
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
- 総務費：5億7225万円増  
LPガス価格高騰対策補助金  
省エネ家電製品購入促進補助金

※詳細は広報きくよう11月号の10～13頁をご覧ください。



## 主な施策の成果

### 人が豊かに育つまち

令和3年から工事を進めてきた総合体育館(令和5年10月にオープン)の新築工事費用のうち、令和5年度支払い分として789,500千円



子ども医療費助成制度

対象年齢を  
拡大!



子ども(高校3年生相当年齢)の医療費を助成する子ども医療費助成事業292,257千円

### 安全・安心で住みやすいまち

環境保全対策として、排出されたごみの処理費用及び菊池環境工場の建設に対する菊池広域連合への負担金257,346千円



菊陽空港線延伸計画道路他7路線の道路改良工事及び測量設計など1,475,729千円

### 産業が成長し続けるまち

令和4年度に本町と立地協定を締結したJapan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社(JASM)が、令和6年2月24日に第1工場を開所



農業用水路の整備として、南方井手改修事業及び新町井手改修事業76,291千円

### みんな楽しく協働して創るまち

地区公民館の支援として、公民館整備費補助金(令和5年度は9地区分)3,518千円



自治体DXの推進として、書かない窓口の導入費19,804千円、粗大ごみ予約システムの導入費868千円

## 付託案件を慎重審議



# 常任委員会報告

- 経済産業建設常任委員会
- 総務住民生活常任委員会
- 文教厚生常任委員会

## 令和6年第3回定例会 委員会付託予定表

◇ 認定第1号 令和5年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定

### 全常任委員会

◇ 認定第2号 令和5年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定

### 総務住民生活常任委員会

◇ 認定第3号 令和5年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◇ 認定第4号 令和5年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

◇ 認定第5号 令和5年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

### 文教厚生常任委員会

◇ 議案第50号 令和5年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定

◇ 請願第1号 上井手からの取水口（柳水井樋）改修に関する請願書

### 経済産業建設常任委員会

## 経済産業建設常任委員会

委員長・矢野厚子

### 施設整備課

現在工事中のテニスコート整備状況の説明。今後の維持管理は、施設の運営を含め、総合体育館だけでなく、杉並木公園全体を含め指定管理制度の導入も検討する。

### 下水道課

井戸水を使用している直接徴収の企業は、企業の設備の中に流量計を設置し、実際の排水量を毎月計測し、それを基に使用料の徴収を行っている。今後のJASM第2工場の稼働に向け、新たな処理場計画を進めながら、既設管を増強し対応する。

### 都市計画課

空港線の土地購入と支障物件の移設補償費の支払いを報告。また、原水の区画整理の進捗状況は、令和10年度の着工を目指し、事業計画図作成の完成を今年度中に予定。地権者への説明会も既に行っている。

定住促進補助金の11軒の利用は、馬場桶地区が10軒、曲手地区が1軒で、その結果として33人の小学生が増加。また、公園の遊具58件の修繕費が発生。また、公園の遊具による法定点検の実施、一年一回の業者による法定点検の実施、遊具のある大きな公園は職員による月1回の点検を実施、更に建設課の道路パトロール時も点検を行っており、重大な事故は起きていない。

### 農業委員会

農地転用や農用地区域の確認など連日の相談があり、対応に追われているが、窓口のタブレットと、現地調査用5台もアプリにより、業務が効率化され、新農業委員にも利用法の研修を検討している。

### 商工振興課

新たな工業団地の計画発表で、企業から問い合わせがあるが、適地がなく立地が実現していない。大規模展示会出展支援事業に4つの企業が出展し、首都圏の販売にこぎ着けた。さんふれあいの状況は、建設から年数が経過し、大規模改造を行う時期にきている。総合体育館に続き、アーバンスポーツ施設の供用もあるので、変化に対応した改修の検討が必要となる。

最後に柳水区から提出された請願1号の上井手からの取水口改修に関する請願書について、高齢化による作業時の事故等を考慮して、何らかの改修や改善が必要だと考え、関連の土地改良区とも十分な話し合いをする事を条件に賛成とした。

## 総務住民生活常任委員会

委員長・廣瀬英一

### 町民課

書かない窓口は、マイナンバーカードまたは運転免許証のいずれかを窓口提出し職員が聞き取りを行い入力するもので、来庁された方が申請書を書

かずに手続きができるものである。この取り組みは令和6年3月に開始し現在使用できる手続きとしては転入手続のみである。



(窓口での相談の様子)

今年の12月からマイナンバーカードと健康保険証が一本化される。マイナンバーカードをお持ちの方は、今後、資格確認書が交付される予定である。マイナンバーカード交付率は、令和6年度8月未現在で81・6%となっている。

### 環境生活課

ごみ一時保管所、ごみ保管箱及びごみネットの整備は、整備費用の2分の1の補助で上限額5万円である。資源ごみ保管庫の整備は、整備費用の3分の2の補助で上限額は10万である。



資源ごみ保管庫

集合住宅が増加傾向にあるが、当該住宅のごみ一時保管所は区が管理していないため、区から相談があった場合には、不動産管理会社へ町が直接連絡して対応している。

### 財政課

無償レンタルのBMWの維持費と利用目的については、維持費はBMWが負担し、利用目的は主に出張時や企業訪問に利用している。

公用車車検については、町内の整備工場に依頼しており、随意契約である。

### 危機管理防災課

防災対策監、危機管理監の任用形態は、任期付き職員として任用している。

免許証返納制度によるタクシー利用券は、100円券と500円券の2種類である。

### 総合政策課

第7期総合計画の策定業務については、今年の10月以降に住民懇談会を開催予定で最終的には来年3月議会を基本構想を上程する予定である。半導体企業進出により、環境が変化してきているために変更点も出てくるが、行政として継続し行っていく部分もあり、全部が変更になるものではない。

### 総務課

菊陽町のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進については基盤整備と人材育成を集中的に行っている。

オンラインでの電子申請では、データで扱うようになったことで業務上の意思決定が早くなった。住民向けとして、オンラインでの申し込みやアンケート回答が可能になり、マイナンバーカードを使った給付申請や転入手続き、粗大ごみのオンライン予約ができるようになった。

## 文教厚生常任委員会

委員長・大久保輝

### 生涯学習課

放課後子ども教室の6校の指導は、NPO法人クラブきくように委託して実施しており、講師もそこから派遣されている。

### 学務課

現在使用しているタブレットの故障や予備機が不足しているが、ICT支援委員の協力により故障のメンテナンスをおこなっている。タブレットは来年度更改の予定であり、故障が少ない機器の選定をおこなっている。

### スポーツ振興課

総合体育館の管理運営業務委託は、NPO法人クラブきくように特命随意契約をしている。

### 福祉課

老人福祉センター大広間改修後は、廊下が倉庫となるためパーティションなどで目隠しする。緞帳については、ステージカーテンで引分緞帳、一文字幕、袖幕を設置予定。

### 子育て支援課

武蔵ヶ丘北小学校の「放課後児童クラブ建設工事」は、小学校グラウンド内に建設する話もあったが、グラウンドが雨水調整池機能を有しており、大雨の際に冠水する恐れがあるために、新設となるとかさ上げの必要があり、建設費が割高になることから、現在の場所に決定した。

### 介護保険課

介護給付費が前年度との比較で2億円近く増加している要因は、要介護（要支援）認定者数が増えているのも一因だが、本町近郊で、有料老人ホームが増えており、有料老人ホームに併設する訪問介護などの住宅サービスの費用の急増が影響しているのではないかと推察する。

### 健康・保険課

後期高齢者医療費の一人当たり医療費が、令和元年度と令和3年度を比べると10万円くらい減っている。この原因は新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えも一つの要因と考えられる。

### 現地視察

菊陽南小学校へ、令和5年度の事業であるプール改修、本年度の事業であるバリアフリー工事の様子など、現地視察をおこなった。



# 町の考えを問う 一般質問



にしもと ともはる 軟骨電動イヤホンを窓口に  
**西本 友春** 配備することを提案 …P12

さかもと ひでのり 地下水涵養補助対象は、  
**坂本 秀則** 全作付圃場を対象へ …P13

や の あつ こ 町民の重要な公共交通機関の  
**矢野 厚子** 駅についての考えは …P14

ば ば こうせい 重度心身障害者医療助成の簡素化は  
**馬場 功世** できないか …P15

ひろせ えいじ 高齢化社会が進む中で、有効な  
**廣瀬 英二** 福祉政策の展開は …P16

かい えいじ 水稲作付推進協力金支給は  
**甲斐 榮治** 作付面積を基準にできないか …P17

よしむら きょうすけ 知の集積エリアで決まっているものは  
**吉村 恭輔** あるか …P18

ふじもと あきふみ 消防団の確保について  
**藤本 昭文** …P19

おにつか よう 本町の職員の就労環境を  
**鬼塚 洋** より改善していく方策は …P20

さとう たつみ 半導体企業進出で加速化する  
**佐藤 竜巳** 渋滞対策に町は …P21

こばやくみこ 企業の情報公開をより図る必要が  
**小林久美子** あるのではないかと …P22

ふた さとる 教科書の採択基準は  
**布田 悟** 何を考慮しているのか …P23

うえだ しげまさ 菊陽町子ども計画を、  
**上田 茂政** 民間に依頼したのはなぜか …P24

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。



にしもとともはる  
西本 友春 議員



**Q 軟骨電動イヤホンを窓口に配備することを提案**

**A 軟骨伝導イヤホンは、今後導入に向け準備を進める**



**A** 高齢化が急速に進展する中で、今後、耳の聞こえづらい高齢者の方は、増加していくものと思われる。  
1人の場合でも来庁しやすく、安心して手続きのできる窓口の環境整備は重要であり軟骨伝導イヤホンは、今後導入に向け準備を進めていく。

**Q** 軟骨伝導は、「気導（従来の聞こえ）」とも「骨伝導」とも異なる「第3の聴覚経路」と呼ばれており、耳の軟骨へ振動を与えることで音を伝えることができ、振動によって伝わるため音漏れの心配はなく、プライバシーも守られるという効果がある。  
また、軟骨伝導聴覚補助イヤホンは、外耳道閉鎖症や小耳症の方など一般的な補聴器の使用が難しい方に、身体への負担が少ない補聴器としても活用されている。「筆談」でも分かりづらいケースもあると考えられる。この問題を解消するためにも軟骨電動イヤホンを窓口に配備することを提案するが町がどのように考えているか。

**熊本町の「がん対策推進事業」への取り組み**

**Q** がん治療に伴う脱毛や手術の痕などの「見た目の変化」による苦痛を補うピアランスケア、熊本県が令和6年度6月補正予算で確定した「がん対策推進事業」への取り組みをどのように考えているのか。



**A** 熊本県では、「熊本がん患者ピアランスケア推進事業」を、令和6年7月から実施。この事業は、がん治療による脱毛や手術療法により外見の変化が生じたがん患者の方が、治療と仕事等との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持することができるよう、外見の変化を補完するウィッグや乳房補整具等の購入費用を助成することにより、がん患者の方の経済的及び心理的負担を軽減し、がん患者の方の療養生活の質の向上を図るもので、実施主体は市町村となっている。  
本町でも、がん患者の方へのピアランスケアが必要と考えていることから、県の補助事業に基づき事業を実施するため、9月議会定例会に、補正予算を計上し、10月からの事業実施を予定している。

**カスタマーハラースメント対策の提案**

**Q** 全国の自治体において、カスタマーハラースメント対策として「通話内容の録音」「窓口の様子を記録する防犯カメラの設置」「名札の表示を名字だけ」にするなどの対策を実施している自治体が存在する。カスタマーハラースメント対策として通話の録音と防犯カメラによる映像や録音、名字だけの名札での対策をすべきと提案するが町はどのように考えているのか。

**A** 電話機は録音機能が備わっており、通話中の録音は可能だが、通話開始前に録音に通話開始前のアナウンス機能は、現時点では導入する予定はない。電話対応でのカスタマー行為の負担軽減には有効な対策の1つと言われているので、導入について研究していく。

次に名札の表記については、他市町村においてトラブル防止のために、名札に関する様々な取り組みがなされている事は承知しており、職員の中には写真を取られ、SNSなどに投稿されることにより個人のプライバシーが侵害されるのではないかと不安を感じる職員もいると思われるので、10月からひらがなの名字のみ名札に変える。

**総合体育館の給水スポットのカウンター開示を提案**

**Q** 総合体育館にある給水スポットのカウンター数を開示してサステナブル(持続可能)な取り組みをPRすべきと提案するが町はどのように考えているのか。

**A** 令和5年10月に開館した菊陽町総合体育館には、1階と2階の2か所に給水スポットがあり、カウンター機能も備わっている。町のホームページ等において、定期的にカウンター数を開示するなど、PR活動を行う。



総合体育館の給水スポット

**その他の質問**

- ・カスタマーハラースメント対策 役場における実態・事例・対策
- ・学校における実態・事例・対策
- ・JASM 第二工場進出に伴う交通渋滞対策
- ・GX（グリーントランスフォーメーション）の取り組み

Q 地下水涵養補助対象は、全作付圃場を対象へ

A 白川中流域等水稲作付推進協議会で可決次第農業者に周知する



さかもと ひでのり  
坂本 秀則 議員

Q 地下水涵養に繋がる、食料米作付水田に対して補助事業は、全圃場に対して面積払いにするべきではないか。

A 白川中流域水稲作付推進協議会に議案を提案し可決されたら農業者に周知し、事業の推進に努めていく。

Q 馬場・鉄砲地区の畑・水田灌漑設備等（3ヶ所）の道路拡幅工事に伴う移転予定に対して、施設利用者並び地権者及び大菊土地改良区に経済的負担が生じないように町は、国・県に対して現物補償を積極的要望するべきではないか。

A 国の補償基準に沿って移転補償を行っており、基準を超えた要望は出来ない。

Q 新町井手改修について、全線の改修計画を示せ。

A 上井手取水口から馬場地区まで2.9km区間の未整備区間2kmのうち柳南団地北側0.2kmは、本年度国庫補助事業を活用して測量設計を行い令和7年から2ヶ年かけて改修する。残りの1.8kmについては、水路の現状や改修の必要性を県に丁寧説明し解決策を協議していく。

町内の交通安全について

Q 外国人転入者に対して、公道での自転車運転並び歩行等の交通ルール及びマナーの指導を実施するべきではないか。

A 外国人転入者向けの菊陽町ガイドには、自動車・自転車・歩行者の交通ルールも掲載されているが、ガイドブックだけでなく、自転車・歩行者の交通ルールやマナーを教える講座を開催出来ればと考えている。

Q 県道大津植木線拡幅で新設予定の交差点に接続する町道古閑原西護川線の改修計画の考えを示せ。

A 安全で円滑な通行を確保するために当該道路を、拡幅する必要があると認識している。古閑原・入道水・柳水の生活道路への通過車両が増加することも考えられるため、慎重に道路整備計画をたてる。

町振興と発展について

Q 近年の物価上昇に対応して、各種補助・助成事業で、上限額を設置している事業は、時代のニーズに即する見直しを早急にするべきではないか。

A 物価上昇が、地域の活動や町民の生活に影響が大きいと考えられる補助・助成については、様々な事情を総合的に勘案して、制度の見直しを検討していく。

Q 町内企業・事業者育成について、町発注の事業は出来る限り町内企業・事業者で受注されるべきではないか。

A 可能な限り町内企業・事業者への発注を行っていく。町内企業・事業者への発注が不十分などところなどあれば、必要に応じて周知や改善を図りながら進めていく。

Q 町内への県営硬式野球場誘致を、県のスポーツ施設整備への構想が変化した今積極的な誘致活動を初めるべきではないか。

A 県では、公民連携によるスポーツ施設の整備に関する検討会議が開催されている、第2回会議以降に、関係自治体やスポーツ関係者へのヒヤリングなどが予定されており、これに向けてしっかりと準備していく。町として誰もが菊陽町に硬式野球場をもつてきたいと思えるよう最大限の準備をしていく。

Q 菊陽町都市計画マスタープラン見直しでの県道大津・植木線南側の土地有効利用は、どのような位置付けにするのか考えを示せ。

A 県道大津・植木線南側区域において、工業団地の整備に関する可能性業務委託を実施する。調査の結果、当該区域が工業団地として適地と判断された場合は、速やかに工業団地として整備を進める。

整備にあたっては、対象地域の地権者皆様の理解と協力が不可欠なため、地域住民も含めた適切な説明会を適時に開催していく。



馬場鉄砲小路の畑灌漑設備の風景2



馬場鉄砲小路の畑灌漑設備の風景3



馬場鉄砲小路の畑灌漑設備の風景1

Q 町民の重要な公共交通機関の駅についての考えは

A 新駅は誰もが安心して利用できる駅関連の施設を整備する



あつこ 矢野 厚子 議員



Q バリアフリー法の新基準の施行に伴い、現行建物についての見直しはどうするのか。  
A 今後、改修などを行う際に基準への適合に努める。

Q 町民にとって重要な公共交通機関の駅についてはどう考えているか。  
A 今後、整備を予定している新駅（三里木駅と原水駅間ら）についてはJR九州と連携して必要な設計を進める予定であり、駅舎や駅前広場、これらの区間を繋ぐ道路、通路その他の施設の一体的な整備を推進して、高齢者や障がいのある人の移動や、施設利用の利便性、安全性を向上させ、新基準を満たした施設とする予定である。またその際は障がいのある方々と、意見交換の機会を設けて、誰もが安心して利用できる駅関連の施設を整備する。また、既存の駅については、施設の状態など踏まえて、対応できる箇所については、改修を進めるとともに、JR九州の管理区域においては熊本県を通じて必要な要望等を行い、できるだけ円滑に移動できる施設の整備を目指す。

Q 今後、多くの施設が建設予定だが、建設準備委員会のメンバーの選定はどのように行うのか。  
A 役場庁舎については、整備検討委員会をすでに立ち上げ、建築を専門とする教授や町民代表など15名を委嘱し開催。今年度中に後2回程度予定し、施設整備には、施設利用者の意見を反映できるように形を取りたいと考えている。

Q これからの町の関連施設の建設には、実際に障がいのある方を必ず委員にするか、アドバイザーとして参加できるように提案をする。  
A 総合体育館の建設時には意見交換を行った。

Q 各窓口のユニバーサルデザイン推進は怎么样了っているのか。  
A 各申請書は、記載事項が法令等で規定されているが、可能な範囲で、随時改善を進めている。書かない窓口システムの利用も住民票等の申請も準備を進めている。

Q 高齢者の日常生活のクオリティの維持についてどう考えているか。  
A 第9期支援介護保険事業計画において、現行の外出支援サービス事業の強化を検討する方針。南部地域のお買い物サロンの取組みは町内全域に拡大する事も想定し、移動を含む新たな買い物支援に取り組む。

Q 自力で外出したい高齢者の安全な外出環境を整えるのも外出支援と考えるが。  
A ユニバーサルなまちづくりとは、高齢者に限らず誰もが参加できる社会と理解しており、他の市町村の先進事例を積極的に収集研究する。



※ 外出支援、買い物支援のひとつとして、小型のカートを高齢者にと提案。

Q まちづくりに必要な人材の確保方法は。  
A 募集方法として、本年度は新たに専門学校の公務員希望学生向けに、菊陽町の魅力を発信する講演を行った。正確な情報を発信しながら、採用方法の情報も収集し、人材確保に務める。

Q 給与以外の待遇改善は考えているか。  
A 働きやすい環境の整備は必要不可欠である。テレワークの推進、計画的な有給休暇の取得、男性の育児休業の取得の促進など、組織全体で、柔軟な働き方を支援する。

※ つくばみらい市に導入された非常時の子連れ出勤、新しい知識や資格の習得に意欲的な職員に対する援助も魅力的な職場にする方法として提案。



Q 重度心身障害者医療助成の簡素化はできないか

A 重度心身障害者医療助成現物給付条例改正する議案を提出



馬場 功世 議員

Q 医療費の支払いについて、償還払いであっても経済的負担であり支払い方法の簡素化はできないか。

A 菊陽町では助成を償還払いで行っており、医療機関等で支払い受給対象者から、領収書等を添えて申請・請求があったあと、町で内容を審査し助成を行っている。

町が発行する受給資格者証を医療機関等の窓口で提示すれば、自己負担分のみ支払いで済む現物給付を実施予定であり今年の12月診療分よりこれまでの償還払いに加え、新たに現物給付での助成もできるようにする。重度心身障害者医療助成に関する条例の一部を改正する議案を、今回の定例会に提出している。

Q 町として健康診断の受診率向上を図るためにどのような具体策を行っているか。

A 受診率向上を図るために、周知方法として、町が実施する健診一覧を掲載した「健康カレンダー」を毎年度全戸配布、健診案内の個別通知、町ホームページ、広報きくよう、菊陽町

公式LINE等で周知をしている。

特定健診未受診者対策として、再勧奨通知と電話勧奨にも取り組んでいる。健診申込方法として、WEBでの申込方法も導入し、申込みしやすい工夫も行っている。

さらに、健診体制の整備として、お勤めの方なども受診しやすいよう、集団健診では、休日の健診も実施している。

今後も、受診率の向上を図り、生活習慣病をはじめとした様々な病気の早期発見・早期治療、予防に努めていく。



Q 高齢者の免許証返納推進について、どのような具体策を行っているのか。

A 本町では、高齢者の運転による交通事故の減少を図る目的として、令和元年10月1日より免許証を自主的に返納された方へタクシー利用券3万円分を交付する支援制度を実施している。

本町では、全町民を対象とした乗合タクシーや巡回バスを運行するなど、自動車等の運転に不安を抱える高齢者が自主的に運転免許証を返納しやすい環境の整備に取り組んでいる。

運転免許証の自主返納支援事業については、今後も「広報きくよう」への記事掲載や高齢者交通安全教室等を通して、引き続き町民の皆さんに支援事業の周知を図っていく。

Q 免許証返納者に対して、シニアカーの購入に対して費用の助成はできないか。

A シニアカーの全国平均価格は、新品で30万円から50万円、中古でも10万円から20万円と高額。そのため、自治体が購入助成を行い、シニアカーの購入を

促すことで、高齢者の移動や外出の支援につながっているようである。

シニアカーの購入費助成については、高齢者の免許証返納を促進する可能性がある一方で、シニアカーによる高齢者の重大事故が増加する可能性もある。

高齢者の免許証返納を推進する目的で、シニアカーの購入費助成を行う自治体は全国でも極めて少ない状況である。したがって、まずはシニアカーの使用に関する安全性の確認が優先されるべきであり、現時点では事業の創設は困難であると考えている。



その他の質問

菊陽町民健康長寿のためにTSMC慈善財団が行う新事業



ひろせ 英二 議員



**Q 高齢化社会が進む中で、有効な福祉政策の展開は**

**A 高齢者の「健康寿命の延伸に向けた健康づくり・介護予防の推進」に努める**

**Q** 高齢化社会が進む中で、社会保障予算を確保しながら有効な福祉政策をどのように展開していくのか町の考えは。

**A** 第9期介護保険事業計画で、「健康寿命の延伸に向けた健康づくり・介護予防の推進」を主要施策として位置付け、①ふれあいサロン事業などの活動の充実を行う「高齢者の身体活動・運動の推進」のほか、今後の取り組みとして、②「70歳以上の希望者への無料入浴券の支給」などを予定しており、これら取り組みを効果的に展開し、社会保障費の抑制に努める。



**Q** 高齢者の仕事の確保として、シルバー人材センターの充実、町内企業等の理解と協力が必要と考えるが、町の考えは。

**A** シルバー人材センター事業の充実、第9期介護保険事業計画の主要施策「いきがい就業」の中に位置づけ、活動の支援を行うことにしている。①会員拡大のための普及啓発費用や就業先開拓のための費用などに対し、助成を行い、支援内容を充実させていく。②町内の企業等に対し、本事業へ理解と協力

をいただくため、就労的活動支援コーディネーターの配置が必要であり、本事業計画の期間中（令和6年度～令和8年度）に、本コーディネーターの配置に取り組んでいく。

**Q** 老人福祉センターの名称について町の考え方を示せ。この件については、令和3年9月定例会で質問をした。老人という名称に抵抗を感じる高齢者が多いこと、日本の介護学の分析でも名称に難ありと指摘をされている。町の考えは。

**A** 隣の福祉支援センターで行う業務を老人福祉センターに集約する改修工事を進めている。この改修により、施設の利用目的や利用対象者に変更が生じることになる。こうした事情から、老人福祉支援センターの名称は、見直す方向で検討を進めていく。

**中期財政計画**

**Q** 今後、給食費の完全無償化、アーバンスポーツ施設の設置、新駅設置、市街地整備、新庁舎建設などに多額のお金が使われていく計画である。

大きな財源となるTSMC進出による大幅税収増、有利な国の交付金があること、それぞれ

れの計画が将来を見据えた事業であることも理解しているが、トータル事業として財政面などうなのか不安がある。町民の声もそうである。

複数の大型事業が計画されている。今後においても第7期総合計画策定による新たなまちづくりが展開されていく中で、中期財政計画、財政収支見通し計画を明らかにするのはいつか。

**A** 現在、菊陽町中期財政計画の策定に向けて、収支見通しなどの作成を進めているところであり、令和6年度末までに菊陽町中期財政計画を策定し、公表したい。

**Q** 中期財政計画、財政見通し計画は何年度までの計画になるのか。

**A** 令和7年度から令和11年度までの5年間の計画期間となる予定である。

**Q** 九州最大規模の「アーバンスポーツ施設」が令和8年度中に開業予定であるが、総合体育館、周辺一帯を含めた仮称総合運動公園活性化のためにどう取り組んでいくのか。

**A** 各施設のイベントや大会の誘致などの点では、行政のみのノウハウでは限界があり、民間のノウハウを活用することで、更なる利活用につながると考え

ている。将来的な運営管理においては、指定管理者制度の導入を前提に検討を進めている。さらに、スポーツ施設を含めた今回の公園拡張整備を、「新駅の設置」、「新駅及び原水駅を中心とした土地区画整理事業」と一体的に進めていく計画である。「スポーツや賑わいのエリア」として位置づけ、町民の憩いの場やスポーツの拠点としてのみではなく、交流人口の拡大や地域活性化につながるエリアにしていく。



**その他の質問**

- ・新庁舎建設までの進め方
- ・新駅のネーミング決定までの進め方



議員 甲斐 榮治

**Q** 水稻作付推進協力金支給は作付面積を基準にできないか

**A** 幹事会では「作付面積基準」を了承、修正案を総会に提案する



白川中流域の主食用米の増産と地下水涵養を目的とした「白川中流域等水稻作付推進協議会」について

**Q** 公益財団法人くまもと地下水財団との関係はどうか。

**A** 現在は関係ないが、主食用米を販売するウオーターオフセット事業と重複するので情報を共有し、連携する。

**Q** WCS（飼料用米）栽培との違いはどうか。

**A** WCSの方が手間がかからないが、湛水期間（WCSは60日間）が主食米の方が30日間長い。

**Q** WCSから主食米栽培へ切り替えると仮定して、WCSの種子が混入して、主食米のブランドを損なう恐れはないか。

**A** WCS栽培後、気温17℃以上の季節に10日間ほど水張りをし、漏生稲の出芽を促し、耕起・すき込みを行うことでほぼ予防できる。なお、それでも残ったものは、成長すると主食用米より背が高く目立つので、除去できる。

**Q** 減反政策等により主食用米栽培が魅力をなくした中で生産者を主食用米栽培に誘導できるか。

**A** 現在の制度設計では、1俵当たり5000円が企業から支給されるので、10アール当たりの所得を比較すると、主食米65000円、WCSは32000円と試算されているので、有力な選択肢になるのではないかと。



夕日の水田

**Q** 生産者に説明はしたか。

**A** 4回行った。「J A出荷以外も対象にしてほしい」、「協力金の算定には作付面積を基準にしてほしい」などの意見が出された。

**Q** 作付面積を支給額の基準にできないか。

**A** 作付面積を基準にする修正案を幹事会に出して了承を得たので、総会に提案する。

**Q** 公的補助はできないか。

**A** 協議会の事業は、企業が地下水涵養に取り組む事業である。町はその活動を支援・補完はするが、公的補助をすることはできない。

**Q** 企業による主食用米購入の拡大は見込めるか。

**A** JASMは現在の33トン購入を来年は60トン以上にする予定であり、他企業の参加も拡大すると考えている。

**Q** 企業の参入・協力と生産者の理解と参入が当事業の成否を握ると思う。地下水涵養・農業振興の面から当事業を注目してゆく。

**A** 我が国の食料安全保障の観点からも大事な事業であり、引き続き努力する。

7期総合計画について

**Q** TSMCの進出を機に、様々の事業が企画または実施されている。まちづくりの基本的考えは何か。

**A** 新たな工業用地の確保、原水駅周辺の区画整理事業、新駅、アーバンスポーツ施設、新庁舎整備などのハード事業だけでなく、高齢者支援、子育て家庭

の支援、多文化共生など、TSMC進出効果を町民が実感できるまちづくりを進める。

町長の「8つの政策分野」を基本的考えとして、策定審議会委員会で検討。第7期総合計画の基本構想・基本計画を並行して進め、令和7年3月議会の予定を目指す。

**Q** 政策アドバイザーをどう活用するか。

**A** 東博暢氏に就任いただいた。氏は、官民協働による新産業創造支援・スタートアップ支援・半導体産業推進ビジョン等に造詣が深く、国や地方自治体で広く活躍中である。本町の施策に専門的立場から助言をもらうばかりではなく幹部・若手職員の育成にも力を貸してもらおう。



JASM第一工場



よしむら きょうすけ  
吉村 恭輔 議員



Q 知の集積エリアで決まっているものはあるか

A 現時点で決まっているものはない

Q 区画整理事業において報道ベースでの情報として大規模宅地開発・商業施設・マンション開発・ホテルの誘致・大学や企業の研究サテライト施設等の誘致による知の集積エリアが出ていたが、現時点で決まっているものはあるか。

A JAS Mの進出に伴う経済発展や人口増加に対応するため、JRの新駅の設定、アーバンスポーツ施設をはじめとする杉並木公園拡張整備と併せて仮称原水駅周辺土地区画整理事業を計画している。今回の区画整理はJR新駅と原水駅があることから、それぞれの駅に役割を持たせ、新駅周辺を『にぎわいエリア』、原水駅周辺を『職住近接エリア』と位置づけ整備を進める。その間に半導体企業集積にふさわしい先進的なまちづくりとして大学のサテライトキャンパスや研究機関、企業などが共同で利用するマルチテナントなどを整備し、知の集積を目指す。

現時点で決まっているものはないが、既に多くの企業や事業者から質問や具体的な提案をいただいている。



(仮称) 原水駅周辺土地区画整理事業の予定地

170名である。定員の満杯ではないが、子どもさんの特性や利用希望日などで希望する事業所へ入れないといったケースもある状況。

Q 現在、児童発達支援を利用中で来年度小学校に入学を控える子どもさんを持つ保護者の方から希望する放課後等デイサービスに定員の空きがなく受け入れ先が決まらないとの相談が複数あった。また今後も人口増加により利用者の増加が予想されるが町はどのような対策を考えているか。

Q 町内事業者全体における児童発達支援・放課後等デイサービスの定員はそれぞれ何名か。また定員に対して空きはあるか

A 8月末時点での児童発達支援事業所は11事業所で、1日当たりの定員総数は105名、放課後等デイサービスは17事業所で、1人当たりの定員総数は

A 実情として町全体の定員は満杯ではないが、利用者が希望するサービスや希望日に事業所に入れないといったことがある。町では現在、委託している基幹相談支援センターに定期的に事業所の空き状況を把握してもらい、その情報をサービスを利用するための相談や支援計画の作成を行う相談支援事業所と共有

し、利用者が希望されるサービスにマッチングできるようにしている。また、放課後等デイサービスは他市町の事業所へ通うことができ、複数の事業所を組み合わせることも可能なので、受け入れ先が決まらないといったお悩みに対しては町の方に相談していただきたい。



その他の質問

- ・フリースクールの誘致
- ・ホテル等の先行誘致

Q 消防団の確保について

A 消防団員確保に向けて努力はしているが厳しい現状にある



ふじもと あきふみ  
藤本 昭文 議員

Q 平成23年の東日本大震災を機に、平成25年に消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行され、その理念として地域防災力の充実強化は、住民、自主防災組織、消防団、水防団、地方公共団体、国等の多様な主体が適切に役割分担をしながら、相互に連携協力して取り組むことが重要であるとの基本的認識の下に地域に密着し、災害が発生した場合に、地域で即時に対応することができざる消防機関である消防団がその中核的な役割を果たすことを踏まえ、消防団の強化を図るとともに、住民の防災に関する意識を高め、自発的な防災活動への参加を促進すること、自主防災組織等の活動を活性化することにより地域における防災体制の強化を図ることを旨として行わなければならないと明記されているが、菊陽町における過去10年間の菊陽町消防団員数の推移を示せ。

A 過去10年間の消防団員数は平成27年度は401人、平成28年度が406人、平成29年度が404人、平成30年度が407人、令和元年度が402人、令

和2年度が404人、令和3年度が396人、令和4年度が398人、令和5年度が360人、令和6年度が359人となっており、過去10年間の消防団員数の推移を見ると、平成27年度から令和4年度にかけては概ね400人前後で推移していたが、令和5年度に大幅な減少が見られた。令和5年度の減少理由としては、消防団員報酬を個人支払いに変更する際、活動実態のない団員が退団した結果、大幅な減少となったことが挙げられる。

なお、令和6年度は、前年より1人の減少にとどまっている。

Q 地域防災力の強化を目指し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行された後も、菊陽町においては消防団員定数460名に対して60名不足の状態が続き、現在では100名の定数割れというところであるが、消防団員の経験もあり消防団の重要性を、より理解している町長は、現在の状況をどう考えているか。

A 国は消防団の強化ということで法律を作っているが、全

国の消防団員数を見ると減少傾向になっている。ここ数年を見ても、令和3年度が全国で約80万5000人、令和4年度が78万4000人、令和5年度が76万3000人、一番新しい数字では令和6年4月1日で74万6000人と減少傾向にある。国も大きな課題と考えていると思うが、これは本町だけの課題ではなくて全国的な課題となっている。町も消防団員確保に向けて努力はしているが厳しい現状にある。

Q 町は消防団員数について、定数460名の回復を目指す考えはあるか。

A 消防団は、住民の生命や財産を守る重要な役割を担っており、団員数の減少は町の防災及び消防体制に大きな影響を及ぼすと考えている。そのため、消防団と連携し、団員の減少を食い止め、団員の確保に努めたいと考えている。

Q これまでに実施してきたこの対策と、その検証内容について示せ。

A 広報きくようへの消防団員募集記事の掲載、消防詰所への募集ポスターの掲示、きくよう



防災フェスタ会場内での募集パンフレットの配布などを行っている。

また、消防団応援の店制度の創設準備を進めている。

さらに消防団員募集のための懸垂幕を作成し、消防詰所や火の見やぐらなどへの設置を予定している。



おに つか 洋 議員  
鬼塚 洋

**Q 本町の職員の就労環境をより改善していく方策は**

**A 職員の増員や有休取得率の向上、テレワーク等の推進に努めていく**

**時代のニーズに即した働き方へ！**

**ワーク・ライフ・バランス**  
「仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態や仕組み」のことをいいますが、

**仕事** / **プライベート**

**将来**

近年、若い世代を中心に、仕事よりもプライベートを優先するという考え方が浸透してきており、仕事の在り方の変革が求められています。

そうした中、本町では、人口増加や大企業の進出で、職員の事務負担が増えており、

本町は昨年、職員の定数条例を改正し、30人の人員増を図った上で、業務の効率化に取り組んでいます（現在の職員数約570人）。

また、本町は、職員の就労環境をより改善していくため、年次有給休暇取得率の向上や

テレワークの推進にも取り組んでいます。

一方で、本町では、現在、フレックスタイム制(★)は導入できておらず、

8時半	12時	13時	17時15分
勤務時間	休憩	勤務時間	
7時	10時	12時	13時
★	コアタイム	休憩	コアタイム
★			★
10時	12時	13時	15時
コアタイム	休憩	コアタイム	
			★
			18時45分

働き方の柔軟性の観点からも、今後は、同制度の導入を強く求めます！

- その他の質問**
- ・ 職員のメンタルヘルスケアのための取り組み
  - ・ 職員へのカスタマーハラスメントに対する予防策
  - ・ キャッシュレス決済の導入

**Q** 本町の正規職員、非正規職員の数及び割合は。

**A** 令和6年度の正規職員数は、町長部局と教育委員会部局を併せて269人（前年比16人増）、非正規職員数は、同じく296人（同20人増）である。なお、非正規職員は全て会計年度任用職員であり、その全職員に占める割合は、町長部局で33・6%、教育委員会部局で81・2%である。

**Q** 職員の募集に対する応募状況はどうなっているか。

**A** 新規採用は毎年横ばいだが、中途採用は非常に応募が多く、採用倍率も高い。

**Q** 近い将来、税収増による歳入増が見込まれるが、人件費の割合を増やすことで、正規職員

を増やし、また、非正規職員のを増やし、また、非正規職員の希望者を正規職員に転換できないか。

**A** 本町では、半導体企業の進出や人口増加を受けて、恒常的に業務量が増加しており、昨年12月に職員定数条例を改正し、常勤職員を段階的に30人増加することとした。常勤職員の増員は、歳入増の見込みも含めた中長期的な財政収支を見極めながら実施していく。また、少子・高齢化等により、職員数の確保が困難となる点については、指定管理や外部委託、DXのさらなる推進等、業務効率化を積極的に進めていく。

**Q** 職員の年次有給休暇の取得率はどうなっているか。

**A** 令和5年は11・4日で、毎年の付与日数（20日）に対する取得率は57%である。

**Q** 有給取得率を100%に近づけるため、今後どのような取り組みを行うのか。

**A** 夏季休暇取得時に年次有給休暇を併用するなどし、連続した休暇取得の推進や、昨年度からリフレッシュ休暇制度を設け、全職員に連続した3日間の年次有給休暇の取得を強く促す等、取得推進に努めている。

**Q** 職員のテレワークの実施状況と、その必要性は。

**A** テレワークは令和5年度に140件実施しており、業務の状況に応じた働きやすさの向上や、自然災害等の発生時の業務継続を念頭に置いた勤務形態と

して、必要であると認識している。

**Q** 本町のフレックスタイムの実施状況と、その必要性は。

**A** 現在、本町ではフレックスタイム制は導入しておらず、職員には育児・介護のための部分休業や早出・遅出勤務、育児短時間勤務制度を活用してもらっている。フレックスタイム制は、柔軟な働き方を推進し、職員一人一人の能力発揮やワーク・ライフ・バランスの実現、職場環境の魅力向上につながることから、導入に当たり、県内外自治体の事例について、情報収集に努めていく。

**Q** 半導体企業進出で加速化する渋滞対策に町は

**A** 丁寧な説明を行い早期着工に取り組む



さとう たつみ  
佐藤 竜巳 議員



南方大人足線完成イメージ

**Q** 現在南方大人足線拡張工事が進んでいる。今後、県道大津植木線までの整備は。



川久保南方線の渋滞状況

**Q** 町道南方大人足線と川久保南方線と県道瀬田竜田までの道路整備計画の時期は。  
**A** 久保田台地は、町の発展に重要な地域と認識。都市計画マスタープランの中で議論し道路整備に取り組む。

**Q** 耕作放棄地に対する取り組み状況と今後の計画は。  
また、整備することで、地下水涵養に貢献と考えるが町の対応は。  
**A** 現在遊休農地面積は、約14・1haと増加傾向。その施策として、町独自の遊休農地解消緊急対策事業を令和5年度に制度化し、耕作可能な農地を再生し、農業者を支援する。

環境問題について



現在進めている道路整備

**A** 拡幅区間約750mを計画。うち約450mを詳細設計に着手するために地権者及び柳水区へ説明。残りの約300mは、杉並木公園線延伸道路の事業進歩に併せ設計業に着手。



農産物直売所の出荷状況

**Q** さんふれあいの生産組合の状況を。  
**A** 当初120名から現在79名約4割が70歳代以上で会員及び品揃えの確保が課題。  
町とさん彩出荷協議会と連携し生産者と地域との交流を促進する。



未だ進まない遊休農地

事業を実施し、遊休農地の解消を図り、環境の整備に努める。

**Q** 地域貢献活動者に、感謝状贈呈を。  
**A** 年内には表彰規程を制定し表彰準備を進める。

地域活動貢献について



スポーツ交流会の様子

**Q** スポーツ交流の場所にさんふれあでの宿泊施設の設置は。  
**A** 県内外多くの来館によりさんふれあに多影響を受け更に、令和8年度に向け、アーバンスポーツ施設の整備が進めば年間約14万人の来客が予想され町への経済効果も大きい宿泊施設も検討材料とする。  
**Q** スポーツ広場を年中使用可能な人工芝に。  
**A** 現時点で人工芝は困難。  
**Q** 天然芝の使用期間の見直しを。  
**A** 検討していく。

**Q 企業の情報公開をより図る必要があるのではないか**

**A** できる限り透明性を確保し、情報提供が必要だと考えている



こばやし くみ こ  
**小林 久美子** 議員

**Q** 企業は、地域との共存共栄を図るために、情報公開に努める必要がある。住民の不安に添えるために、地域住民・団体と定期的に協議の場を開くよう要望してはどうか。

**A** できる限り透明性を確保し、必要な情報を提供することが重要と考えている。一方でJASMは民間企業であり、企業の機密情報や事業戦略の公開には限度があり、ご理解いただきたい。町民の意見は適切に伝達する。町民代表として議会で視察も行い、今後も取り組みを要望していく。

**Q** 土地開発の激化で200ヘクタール以上の農地が買収や賃貸契約解除の対象になっている。町の産業である農地も涵養地も守れない。進出企業の取水量は、把握しているか。100%の涵養を目指すとしているが、涵養のための様々な策にJASMとして総額いくら投じるのか。

**A** 第1工場が年間300万トン、第2工場が500万トン。企業として涵養米1100俵を購入する契約を結んだ。営農によらない対策も協議する。企業が涵養にいくら使うかについては、言えない

**Q** 本場に100%の涵養が可能なのかを具体的に丁寧に説明しないと、町民の不安に添えられない。涵養のためにトータルでどの程度拠出するのか明らかにしてほしい。関連企業の進出、道路の拡幅、宅地造成で（地面が減り）降雨流出量は増える。県はどう検討しているのか。（過去の）地下水量の将来予測資料では、厳しい予測が出ていたが、（最新の）出せる資料はあるか。情報を教えてほしい。

**A** 県の検討の中身はわからない。

**Q** 工場稼働前にもかかわらず、渋滞は深刻化している。道路に対して車が多い。稼働までに道路は完成しないし、また建設中の道路だけで解決しない。交通量を減らす対策には企業の協力が必要。第1工場従業員の車の台数は把握しているか。JASMにどう伝えているのか。

**A** 第1工場に1700人が働く。車の台数は把握していない。公開の体制が整ったら公開されると思う。県・セミコン交通対策協議会を立ち上げた。これまでに会議は1回、9月中旬に2回目を開く。



渋滞の様子

**Q** 使用水の完全再利用はできないか。またPFAS（有機フッ素化合物）はじめ有害物質の完全除去を図ってもらうよう働きかけができないか。

**A** 水の再利用は働きかけにより、当初の循環率70%を75%に引き上げた。川尻のルネサスが99%再利用できているのは、製造するナノ数が違うので比べるのは適当ではない。有害物質除去についても県とともにJASMと協議し、法の基準を下回る社内基準を設け、対処している。排水の監視体制は企業側の責任において自主検査を行い、町は下水道法に基づき立ち入り調査をしている。県地下水保全推進本部、幹事会により県民への「見える化」を強化していく。

**Q** 新型コロナワクチン接種希望者から、インフルエンザ並みの補助ができないかとの要望があるが、検討できないか。

**A** 公費による接種が終了しているため、町では65歳以上を対象に、今年10月から来年3月まで実施を予定している。接種費用を1万5300円と設定し、自己負担額は2100円を予定している。



**Q** 猛暑が続いている。エアコン購入できない低所得者の方には、購入・設置費用の助成ができるか。あわせて電気代の助成ができるか。

**A** 経済的理由で購入や使用を控えている世帯があることは認識している。熱中症の問題は、全国的な問題であり、自治体で解決できる問題ではない。

**Q 教科書の採択基準は何を考慮しているのか**

**A** 学習指導要領の趣旨に則し、学びに向う力が達成できるかが基準



ふた さとる 布田 議員

**Q** 教科書採択は、どのように行なわれているか。

**A** 教科書の発行者は、検定に合格した教科書を文部科学大臣に届出をし、大臣は届出をもとに、教科書目録を作成し、都道府県教育委員会を通じ、各学校や市町村教育委員会に送付しており、この目録に搭載されない採択されない仕組みだ。

採択にあたり、「市町村区域」又はこれらの区域を合わせた地域」を採択地区として設定し、都道府県教育委員会が、適当と考えられる地域を自然的、経済的、文化的諸条件等を考慮して決定する。

本町では、菊池管内の4市町で組織する「菊池地区教科用図書採択協議会」において共同採択を行っており、協議会の諮問機関として、各学校の校長、保護者代表、学識経験者などで構成する「教科用図書選定委員会」を設置している。

採択協議会は、答申結果を踏

まえ、教科ごとに種類を選定し、最終的に各市町の教育委員会の議を経て採択教科書として決定する。

**Q** 公民・地理の教科書採択は何を基準にしているか。

**A** 他の教科書と同様、学習指導要領の趣旨に則し、教科の目標における「学びに向かう力」が達成できるかが基準として示されている。

また、熊本で教育を受けてよかったと思うような、より良い記述や内容になっていることについて、授業改善の工夫がされていることや人権尊重の精神の滋養を図る人権教育を推進するための工夫がされていることが基準とされている。

**Q** 特に公民、地理・歴史の教科書においては、人権・政治経済、日本の歴史の分野での内容

に関し、児童・生徒の将来の生き方や思想・信条の形成に与え

る影響が大きいと思われる。

この点はどのように配慮して教科書の選択を行っているか。

**A** 子供達は授業で学習したことを通して成長し、自分自身の生き方や価値観を形成していくので、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるとい

う教科の目標達成に向け、教科書を活用して授業を工夫する事が求められている。

教育委員会としては、菊池地区の児童・生徒の実態や地域の特性を踏まえ「菊池地区教科用図書採択協議会」で採択された教科書を利用し、学習指導の充実に向け指導していく。

**部活動形態の現状について**

**Q** 小中学校のスポーツ分野の部活動形態の現状はどのようになっているのか。

**A** 小学校については、部活動を地域に移行しておりNPO法人クラブ菊陽の中に「ジュニアきくスポ」を設立し、約300名が活動している。

中学校部活動の地域移行については、働き方改革の下、指導を希望する教職員が円滑に兼職兼業の許可を得られるよう規定・運用の改善を目指していく。



**Q** 菊陽町子ども計画を、民間に依頼したのはなぜか

**A** 本計画の策定にあたり、事務作業が発生するため計画策定業務を委託



うえだ しげまさ  
上田 茂政 議員



**Q** 菊陽町子ども計画の策定について、なぜ民間シンクタンクに依頼したのか。公募型ポータル方式で選定されているが、どのような提案があったのか。

**A** 本計画については、「子ども・若者計画」、「子ども貧困対策計画」、「次世代育成支援行動計画」及び「子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとして作成することができるとされている。策定にはかなりの事務作業が発生するため、計画策定業務を委託することとした。

応募事業者からは、計画策定に係る業務の実施体制の提案と過去5年間の業務実績を示された。

**Q** 公募数、委託金額、決定の経過を示してほしい。

**A** 公募数は、公募した結果応募があったのは1件であった。委託金額は、771万1千円。菊陽町子ども計画策定業務委託事業者選定委員会を設置し、応募事業者からの企画提案書をもとに審査を行った。

**Q** シンクタンク委託は、全国画一的になる恐れがあるが、菊陽町独自の視点は加味されるのか。

**A** 町内の子育て世帯の保護者

などにアンケートなどを行っており、その結果から、現状分析や課題抽出を行っている。その内容を踏まえ、本町の実情に合った計画をしていく。



コロナ・ノロウイルスの感染対策

**Q** コロナ、ノロウイルスなどの感染対策として、学校施設に自動水栓を設置すべきだと考えるがどうか。

**A** 新型コロナウイルスが蔓延して以降、町内の小中学校では、国の補助金など活用して、トイレや廊下の手洗い場などに、自動水栓を優先的に設置している。一部設置されていない体育館のトイレなどについては、今後取り組んでいきたい。

町立保育所では、自動水栓の設置はないが、今後施設の改修などに合わせ、感染リスクが高い箇所への設置を進めていく。

南海トラフ地震対策は

**Q** 南海トラフ地震発生も懸念される中、本町の対策はどうなっているのか。

**A** 指定緊急避難場所兼救援物資の備蓄・受入配送拠点となる「光の森防災広場」、災害応急対策の司令塔となる「防災センター」、避難拠点となる「菊陽町総合体育館」など、各施設の整備を進め、防災機能の強化を図っている。

南海トラフ地震が発生した場合には、町内の災害対応はもち



ろんのこと、県からの指示に従い、町外の被災地支援や避難者の受け入れにも的確に対応していきたい。



光の森防災広場

熊本地震後の診断・改修の促進は

**Q** 熊本地震から8年が経過したが、耐震化されていない家屋などの診断・改修の促進は進められているのか。

**A** 熊本地震で被災した住宅または新耐震基準を満たさない昭和56年5月31日以前に建築された住宅について、耐震診断、耐震設計及び耐震改修に対し補助制度を設け、住宅の耐震化の促進を図っている。熊本地震後の平成29年度から令和5年度の補助実績は、耐震診断32件、耐震改修17件、耐震建て替え10件である。

# 菊陽町で活躍するみなさま

## こども食堂

今回の菊陽町で活躍するみなさまは、町内でこども食堂を開催されている団体を紹介します。

### さくら食堂

**開催場所** 菊陽町原水1328-2

**開催日** 毎月第3土曜日

**コメント** 就労継続支援【天使の郷】では第三土曜日に実施しています。どなたでもお気軽にご利用下さい！7月8月は敷地内にてプールで遊びました。



### キッズレストランいと

**開催場所** 菊陽町武蔵ヶ丘3丁目26-7-1

**開催日** 毎月第2土曜日

**コメント** 菊陽町のこどもたちのために菊陽町の食材で、菊陽町の人たちが子ども食堂を毎月開催してます。継続は力なりをモットーにチームきくようこれからも頑張ります。

### さんりぎピザ研究所

**開催場所** 菊陽町津久礼2327-2(三里木公民館)

**開催日** 奇数月の第1日曜日(1月を除く)

**コメント** 毎回、みんなでペットボトルとダンボールの焼き窯を使った美味しいピザを作っています。(1人300円で実施中)お子様だけでなく、地域の皆様や外国人の皆様の参加も大歓迎です。

\*今後子ども食堂へ向け検討中



# 議会の活動状況

## ● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月1日	菊陽町食品衛生協会総会（来賓挨拶） 〃 懇親会	菊陽町食品衛生協会	杉並木公園管理センター さんふれあ
7月1日・ 2日	公文書押印		正副議長室
7月3日	BMW電気自動車の無償レンタル引き渡し式 熊本市計画マスタープラン事前レクチャ	菊陽町総務課 菊陽町都市計画課	役場正面玄関 正副議長室
7月4日・ 5日	公文書押印		正副議長室
7月5日	大津地区防犯協会総会 監査報告	大津地区防犯協会連合会	菊陽町防災センター
7月6日	青少年のつどい	青少年のつどい実行委員会	菊陽町図書館ホール
7月8日	熊本市計画マスタープラン検討委員会	熊本県土木部道路都市局都市計画課	熊本県庁 防災センター1階
7月9日～ 12日	公文書押印		正副議長室
7月11日	菊陽町役場庁舎等整備検討委員会 令和6年度戦没者追悼式（来賓挨拶）	町長 菊陽町遺族会・社協	町防災センター2階 町老人福祉センター
7月12日	阿蘇くまもと空港周辺四ヶ町村議会議長・事務局長会 議・懇親会	阿蘇くまもと空港周辺四ヶ町村議会議長会	菊陽町役場・無限
7月13日	菊陽町地域女性の会との交流会 「夕べのつどい」（来賓挨拶）	菊陽町地域女性の会	さんふれあ
7月16日・ 17日	公文書押印		正副議長室
7月17日	令和6年度 第二回菊陽町都市計画審議会	菊陽町都市計画審議会	町防災センター2階
7月18日	菊池広域連合全員協議会・臨時会 議員定数調査特別委員会	菊池広域連合 菊池広域連合議会	菊池広域連合本部
7月19日	公文書押印		正副議長室
7月20日	くまもと経済 取材対応		正副議長室
7月20日	三里木区夏祭り 来賓出席	三里木区	三里木駅前広場
7月22日～ 25日	公文書押印		正副議長室
7月23日	議会運営委員会	議会運営委員会	委員会室
7月24日	政策協議	町長、議長	正副議長室
	臨時会	町長	議場
	全員協議会	議長	委員会室
	国道443号線整備促進期成会総会	促進期成会総会	ホテル熊本テルサ
7月25日	令和6年度中九州・地域高規格道路推進期成会総会	中九州・地域高規格道路推進期成会	大分県竹田市 久住高原ホテル
7月27日	文化協会主催「地域交流祭」（来賓挨拶）	菊陽町文化協会	老人福祉センター
7月29日～ 31日	公文書押印		正副議長室
8月2日	台湾の子どもたちとのバスケットボール交流会（来賓挨拶）	菊陽町教育委員会	菊陽町総合体育館
	台湾（邱郷長）他一行との夕食会		
8月3日	公文書押印		正副議長室
8月3日	菊陽町夏祭り	夏祭り実行委員会	杉並木公園さんさん
8月4日	台湾ホームステイ事業の昼食会（挨拶）	菊陽町教育委員会	クリアージュ
8月5日～ 8日	公文書押印		正副議長室
8月7日	子ども議会（挨拶）	菊陽町教育委員会	議場
8月9日	市街化調整区域活性化連絡協議会総会	市街化調整区域活性化連絡協議会	益城町役場
	菊池地域市町議会議員 研修・情報交換会	菊池地域市町議会議長会	菊池市役所・七城温泉
8月13日	公文書押印		正副議長室
8月16日	公文書押印		正副議長室
8月16日	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
8月17日	菊陽町現職・退職校長会 総会・懇親会（来賓挨拶）	菊陽町現職・退職校長会	まるよし
8月19日	公文書押印		正副議長室
8月19日	防災講話	菊陽町	防災センター
8月21日	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会 総会	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会	エアポートホテル
8月21日・ 22日	公文書押印		正副議長室
8月22日	菊陽町造園協会 懇親会（挨拶）	菊陽町造園協会	中村屋
	隈部区長会長と議長の意見交換 （広聴特別委員会と区長会の意見交換会について）	議長	正副議長室
8月23日	夜間パトロール	青少年健全育成町民会議	菊陽町内
8月26日	公文書押印		正副議長室
8月27日	熊本県町村議会議長会副議長研修	ズーム	
8月28日	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
	公文書押印		正副議長室
8月30日	公文書押印		正副議長室
	老人福祉センター事業説明 都市整備部 事業説明	福祉課 都市整備部	正副議長室 正副議長室
9月1日	人権フェスタ		図書館ホール
9月3日	公文書押印		正副議長室
9月4日	定例会 開会	町長	議場
	全員協議会	議長	委員会室
	議会運営委員会	議会運営委員長	委員会室

# 議会の活動状況

## ● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
9月5日・6日	定例会 一般質問 公文書押印	町長	議場 正副議長室
9月8日	芸術文化公演	教育委員会	図書館ホール
9月9日	定例会 一般質問 公文書押印	町長	議場 正副議長室
9月11日・12日	公文書押印		正副議長室
9月12日	「特別報酬等審議会設置要望書への回答書授与式」 経済産業常任委員会へ参加	町長・議長 経済産業常任委員会	正副議長室 防災センター1階
9月15日	田中愛美選手 表敬訪問来庁	スポーツ振興課	防災センター2階
9月18日	全員協議会 会議 議会運営委員会 会議	議長 議会運営委員会	委員会室 正副議長室
9月17日・18日	第三回定例会		
9月17日～19日	公文書押印		正副議長室
9月20日	金婚式 式典 (来賓挨拶) 建築組合 町政懇談会 (来賓挨拶)	町長 建築組合	図書館ホール さんぶれあ
9月21日	熊本TEC祭2024	ソニーセミコンダクター	セミコン中央公園
9月24日	菊陽町共同募金第一回運営委員会 公文書押印	菊陽町共同募金委員会	町福祉支援センター 正副議長室
9月25日	菊池広域連合議会「議員定数調査特別委員会」	議員定数調査特別委員会	広域連合本部
9月27日	公文書押印		正副議長室
9月29日	夢街光の森会 秋祭り (来賓挨拶)	夢街光の森会	光の森公園
9月30日	菊池広域連合議会 議員定数調査特別委員会報告書確認作業 公文書押印	正副委員長 (水上、福島)	菊池広域連合 正副議長室

## ● 議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月23日	委員長研修会	県町村議会議長会	防災センター
8月7日	区長会との意見交換会	広聴特別委員長	防災センター
8月16日	議会運営委員会	議会運営委員長	菊陽町役場
8月28日	議会運営委員会	議会運営委員長	菊陽町役場
9月18日	議会運営委員会	議会運営委員長	正副議長室

## ● 総務住民生活常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月17日	都市計画審議会	菊陽町	防災センター
7月23日	委員長研修	県町村議会議長会	防災センター
8月7日	菊陽町区長会と議会の意見交換会	広聴委員会	防災センター
9月11日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場
9月12日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場

## ● 文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月12日	菊陽町戦没者追悼式	菊陽町遺族会・社協	社会福祉協議会
7月17日	都市計画審議会	菊陽町	菊陽町役場
7月23日	委員長研修	県町村議会議長会	防災センター
8月2日	台湾宝山郷と菊陽町の子もたちとのバスケットボール交流会	菊陽町	菊陽町総合体育館
8月7日	菊陽町区長会と議会の意見交換会	広聴委員会	菊陽町役場
9月11日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場
9月12日	委員会現地調査	常任委員会	菊陽南小学校

## ● 経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月17日	都市計画審議会	菊陽町	防災センター
7月23日	委員長研修	県町村議会議長会	防災センター
8月7日	菊陽町区長会と議会の意見交換会	広聴委員会	防災センター
9月11日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場
9月12日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場

## ● 広報調査特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
7月17日	広報委員会 (6月議会だより1校作成)	広報調査特別委員会	菊陽町役場
7月25日	広報委員会 (6月議会だより2校作成)	広報調査特別委員会	菊陽町役場
8月1日	広報委員会 (6月議会だより3校作成)	広報調査特別委員会	菊陽町役場
8月5日	広報委員会 (6月議会だより4校作成)	広報調査特別委員会	菊陽町役場
9月18日	広報委員会 (9月議会だより紙面割検討)	広報調査特別委員会	菊陽町役場



## 菊陽町を「吹矢の街」へ

スポーツウエルネス吹矢菊陽支部では、吹矢の街づくりの第一歩として、杉並台自治会の夏祭り子ども会の協力により、吹矢体験会を実施しました。的に風船を付けて5メートル離れたところから一人5本の矢を吹いてもらい、4～5本目に風船が割れて大喜びしていました。今後は大人も含めた計画を考えていきたいです。

また、スポーツクラブ菊陽が担当する放課後の児童見守り活動で、10月23日（水曜日）菊陽北小学校、11月6日（水曜日）武蔵ヶ丘北小学校で、吹矢体験会を実施しました。



吹矢を体験する子どもたち

※令和7年度には、町の主催講座として5回にわたり体験講座が実施される予定です。

### 吹矢式健康法とは!! (吹矢の効果)

◆腹式呼吸で矢を吹くことにより、**内臓機能が活性化し免疫力が向上**するなど、**健康に良く集中力も鍛えられ**矢が的に当たることによって**ストレス解消にも効果的**です。

◆口の周りや口の中を多用に動かすため、口を閉じる力が付くほか、**唾液の分泌を促し**口腔乾燥症も**予防**するため、**食べ物の飲み込みをスムーズにする効果**もあります。



「スポーツウエルネス吹矢」は、男女を問わず子供から大人まで、無理なく楽しめるスポーツです。

今後の活動として、体験会や個人的、老人会、病院等でのリハビリにも最適なので興味のある方は是非ご相談ください。

熊本県スポーツウエルネス吹矢

菊陽支部 支部長 大澤民生

携帯電話 090-9079-1659



## 編集後記

鬼塚 洋

文化庁の調査によれば、月に1冊も本を読まない人は6割超に上り、若者中心に活字離れが深刻化しています。そうした中、我々広報委員会は、活字たっぷりの「議会だより」をどうやって皆様に読んでいただけるか、日々試行錯誤しております。

「広報きくよつ」とこの内容の差別化はもちらんのこと、新規事業の特集、図やイラストの活用、QRコードを通じた動画の視聴等、皆様にとって関心の高い地域問題について、できる限りわかりやすい形でお届けしております。

また、最近ではChat GPT等のAIも広く認知されており、今後は、AIを活用した紙面作成や広報のさらなるデジタル化にも取り組んでいきたいと考えております。皆様の意見・ご要望がございましたら、是非とも当委員会にお寄せ下さい！

みなさんの 傍聴を お待ちしております。

### 議会からお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長

福島 知雄

編集者

委員長

西本 友春

副委員長

藤本 昭文

委員

廣瀬 英二

委員

馬場 功世

委員

吉村 恭輔

委員

鬼塚 洋

この議会だよりは再生紙を使っています。